

WHO協力センター
指定記念シンポジウム
群馬大学

群馬大学(前橋市昭和町 高田邦昭学長)は7月5日、「保健職教育に対する見解の現状：世界とアジア地域そして日本と群馬地域からの視点」をテーマに群馬大学WHO協力センター指定記念シンポジウムを、前橋テルサ(前橋市千代田町)で開く。

理事会議長の牛尾光宏氏、参議院議員の武見敬三氏らが講演を行う。また、地域・国際合同フォーラムではモデレーターに群馬大学多職種連携教育研究研修センター長で群馬大学大学院保健学研究科長の渡邊秀臣氏、バネリストに県健康福祉部長の片野清明氏、モンゴル健康科学大学教授のTserendagva Dalkh氏、札幌医科大学講師の苗代康可氏、群馬大学大学院保健学研究科多職種連携教育推進室長の篠崎博光氏を迎える。

時間は午後1時から同3時50分まで。入場は無料。詳しい問い合わせや予約は群馬大学昭和地区事務部総務課庶務係(☎027-220-7712)まで。

2014. 5. 22

ぐんま経済新聞